

指標策定上の留意点

静岡県幼児教育センター

指標の策定に当たっては、各市町の教育施策、教員育成に対する考え方等に基づいて行ってください。

参考資料として、静岡県幼児教育センターで作成した「『静岡県幼稚園等園長育成指標』及び『静岡県幼稚園等教員育成指標』市町策定モデル（令和8年改訂）」（以下「静岡県園長育成指標」「静岡県幼稚園等教員育成指標」とする）を御活用ください。「静岡県園長育成指標」「静岡県幼稚園等教員育成指標」は『静岡県教育大綱（2025年度～2028年度）』で示された基本理念「未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現」を実現することを目的として改訂しました。最上段に基本理念に基づく「静岡県が目指す園長像」「静岡県が目指す教員像」を掲げています。

1 「静岡県園長育成指標」について

「静岡県園長育成指標」については、「静岡県校長育成指標」に準じています。園長と校長との職務の共通性から、資質能力、項目、具体例からなる内容に大きな変更は加えてありません。文言を幼稚園及び幼保連携型認定こども園に応じて整理しました。

資質能力の区分例

園経営のビジョンを実現する力 (分析・企画・検証・改善)	<ul style="list-style-type: none">○ 情報の収集と課題等の把握（アセスメント能力）○ ビジョンの構築と共有○ 必要な諸資源の把握とその活用（ファシリテーション能力）○ ビジョンの実現に向けた評価・点検及び改善
管理運営力	<ul style="list-style-type: none">○ 園運営体制の確立○ 危機管理体制の確立○ 施設管理・事務管理○ 教職員の勤務・サービスの管理・監督及び働き方改革の推進
人材育成力	<ul style="list-style-type: none">○ 教育・保育活動活性化への体制作り○ 働きやすい職場環境づくり○ 各教職員に対する理解・支援・育成

2 「静岡県園長育成指標」改訂の主なポイント

(1) 「人権」に関する事項を明記

これまでの園長の指標では、「人権」に関する事項は教員の指標で示していることから、明記していませんでした。しかし、乳幼児はもちろんのこと、教員の人権も守られた、人権尊重の視点に立った安全・安心な園をつくることは、園長の重要な役割であることから、「園経営のビジョンを実現する力」「管理運営力」「人材育成力」の全てで示しました。

(2) 「働き方改革」に関する事項を明記

指針※では、教育・保育の質の向上を園長のリーダーシップの下で実現するための前提として、園における働き方改革を具体的に進めることも課題意識の1つとして持つことが重要である旨が明記されました。

そのため、「管理運営力」の「教職員の勤務・サービスの管理・監督」に「働き方改革の推進」を追記し、具体例を示しました。また、「働き方改革の推進」が単に業務の削減に留まってしまうことで、教職員の働く意欲を削ぐことがないように、「人材育成力」の「ウェルビーイングを実現する職場環境づくり」の中で、「働きやすさと働きがいを両立した職場づくり」を示しました。

※文部科学省が令和7年2月に改訂した「公立の小学校等の校長及び教員としての資質向上に関する指標の策定に関する指針」（以下「指針」とする）

(3) 判断力と決断力に関する事項を明記

指針では、的確な判断力と決断力は、教育者としての資質や交渉力、危機管理等のマネジメントの能力、アセスメント能力やファシリテーション能力などとともに、園長の基本的な役割を果たす上で、重要な力であるとしています。これらの中でも、特に的確な判断力と決断力は、園の最高責任者として安全・安心な園づくりを進める上で非常に重要であることから、「管理運営力」の中で示しました。

3 「静岡県幼稚園等教員育成指標」について

(1) キャリアステージの区分について

公立幼稚園等における教員のキャリアステージは、小学校や中学校、高等学校等の教員と同様に、単に年齢や在籍年数で区切られるものではありません。それぞれの市町の教員育成の考え方をもとに、保育所や私立幼稚園等における経験等も考慮し、教員自身が自らのキャリアステージを自覚していくこととなります。「静岡県幼稚園等教員育成指標」では、キャリアステージの区分を「静岡県教員育成指標」に準じ、「採用時」「基礎・向上期」「充実・発展期」「深化・熟練期」としています。

キャリアステージの区分例

区 分	説 明
採用時	○ 教育・保育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。
基礎・向上期	○ 他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。 ○ 様々な園の異動を経験する中で、視野を広げる。
充実・発展期	<u>基礎・向上期に身につけた力に加え、</u> ○ 自らの立場や役割を自覚して園運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。 ○ 教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。
深化・熟練期	<u>充実・発展期に身につけた力に加え、</u> ○ 指導的な立場として、園運営のサポート役や園内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。 ○ 園運営をリードする立場として、組織的に教育・保育活動を推進する体制と構築する。

(2) 資質能力の区分について

「静岡県幼稚園等教員育成指標」は、「静岡県教員育成指標」の資質能力を乳幼児期の教育・保育に応じたものに整理しました。大きな変更点として、静岡県教員育成指標の「授業力」及び「生徒指導力」を「多様な教育・保育ニーズへの対応力」として一つにまとめ、内容事項を「教育・保育を構成する力」「乳幼児を理解し対応する力」「一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力」の三つに分けました。

これは、幼児教育において「教育・保育を構成する力」「乳幼児を理解し対応する力」「一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力」は、それぞれが独立して行われるのではなく、互いに補完し合うことで、よりよい教育・保育が構成・実践されていくと考えられるからです。

資質能力の区分例

教育・保育的素養		教員として求められる高い使命感、倫理観、教育・保育に関わる仕事に対する誇りと情熱、乳幼児に対する教育的愛情等、教員として欠かせない資質能力。
総合的人間力		教員として重要である常に学び続ける姿勢、変化に対応し続ける柔軟な姿勢、真摯な態度で目標を持ち達成を目指して行動する姿勢等、〇〇市の目指す「〇〇の子」の育成に向けて必要な資質能力。
多様な教育・保育ニーズへの対応力	教育・保育を構成する力	乳幼児の自発的な活動としての遊びを生み出すための教育・保育を構成・実践し、生きる力の基礎を育むための資質能力。 ○ 乳幼児を中心とした教育・保育、指導と評価の一体化による保育改善、非認知能力の育成等、教育・保育実践に係る資質能力。
	乳幼児を理解し個に対応する力	乳幼児に対する理解を深め、健やかな成長を支援する資質能力。 ○ 乳幼児の発達（個人差含む）に関する知識・理解、集団の中で個を生かす保育、地域・外部機関との連携、子育て支援（保護者対応）等の推進に係る資質能力。
	一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力	乳幼児一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力。 ○ 乳幼児一人一人の実態の把握、合理的配慮の提供、UDの視点を取り入れた環境、「共生・共有」の理念に基づく教育、外国につながる乳幼児への支援に係る資質能力。
組織運営力	組織目標を達成するために必要な力	組織目標を達成するために必要な資質能力。 ○ 同僚との対話や協働、コミュニケーション、ファシリテーション、人材育成、危機管理に係る資質能力。
業務遂行力	多様な教育・保育ニーズへの対応力以外の専門的な力	多様な教育・保育ニーズへの対応力以外の教員としての専門的な資質能力。 ○ 安心安全な園作り、幼保こ小の連携、ICT活用、課題解決に係る資質能力。

4 「静岡県幼稚園等教員育成指標」改訂の主なポイント

(1) 「一人一人の教育・保育ニーズに応じた支援を実践する力」を新設

これまでの「静岡県幼稚園等教員育成指標」では、主に「乳幼児を理解し個に対応する力」の中で示してきましたが、文部科学省が改訂した指針では、教員に求められる資質の1つとして独立していること、本県が「共生・共有」の推進を重要な施策としていることから、資質能力として独立して示しました。また、外国につながる乳幼児が多く在籍している本県の実態を鑑み、特別支援の対象となる乳幼児だけでなく、外国につながる乳幼児への対応も示しました。

(2) 「乳幼児を理解し対応する力」に「自己統制力の育成」に関する項目を明記

「自己統制力」とは自分の気持ちを調整する力のことで、他者を尊重しながら主体的な選択・決定・実行する力のことであり、極めて重要な概念であることから、「乳幼児を理解し対応する力」の具体例の1つとして示しました。

(3) 「ICT 機器や情報、教育・保育データ、生成 AI の活用」を「教育・保育業務遂行力」に集約

これまでの「静岡県幼稚園等教員育成指標」では、「ICT の活用」はもっぱら「教育・保育力」の中で示してきました。しかし、「ICT 機器や情報、教育・保育データ、生成 AI」は、あらゆる場面で活用することが求められることから、「教育・保育業務遂行力」の項目の一つとして示しました。なお、活用の習熟は、必ずしもキャリアステージに応じて伸長するとは限らないため、具体例は、「基礎・向上期」から「深化・熟練期」まで同一のものとして示しました。